

第6回ごみと水を考える集い

(第6回藤前干潟 伊勢・三河湾のごみと水を考える集い)

日時:2017年1月22日(日)午後1時~5時30分(受付午後0時30分)

場所:名古屋市稲永スポーツセンター (裏面に案内図)

名古屋市港区野跡5-1-10 電話052-384-0300

★記念報告 「森の健康診断の10年とその後」

土岐川・庄内川源流の森委員会 村上誠治事務局長

★特別報告

公益社団法人名古屋清港会

「名古屋港のごみの実態と取組」 加塚伸吾常務理事兼事務局長

「名古屋市立名古屋商業高校の取組」 名古屋商業高校の皆さん

「藤前干潟ヨシ原調査の報告」 中部大学応用生物学部上野研の皆さん

★参加団体アピールタイム (分散会含め全参加団体に発表願います)

★ごみと水を考える集いアピール採択

※そして シシ汁交流会



↑「新庄内川源流森の健康診断」として、新たな取組みが始まっています。



↑平成25年度からヨシ原調査、中部大学(上野研究室)で究明中。昨年(2016年)の報告の様子。

2012年1月に「第1回ゴミと水を考える集い」を開催し、「答志島にゴミ拾いに行こう」と確認したことを契機に「22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会」が結成されました。

その後の5年間で、6回の奈佐の浜清掃活動と4回のエクスカーショ活動を重ねています。愛知県は、来年「西の浜エクスカーション」(2014年開催)に次いで2回目の「藤前干潟エクスカーション」を行います。漂着ごみゼロをめざした取り組みを一層推し進める取り組みにしたいです。

奈佐の浜プロジェクトに参加した団体が、自らのフィールドでの取組の大切さと、流域一体の清掃活動の強化と啓発が大切なことを再認識されたのではないのでしょうか。

「第6回ごみと水を考える集い」は、「藤前干潟エクスカーション」の全県的な成功と、伊勢・三河湾につながる全ての流域で「漂着ごみゼロ、ごみが生まれない社会創り」の取り組みとネットワークづくりを一層推し進める「集い」にしたいと思います。

<呼びかけ団体> ・土岐川・庄内川源流の森委員会 ・藤前干潟クリーン大作戦実行委員会 ・四日市ウミガメ保存会 ・22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会 ・NPO法人土岐川・庄内川サポートセンター (以上五団体)

<問い合わせ先・事務局>

鈴木康平 電話 090-8421-1037 FAX 0568-52-0267

ごみが生まれない社会創りめざす7項目アピール

私たちは、呼びかけます。

- 子どもたちが安心して元気に遊べる水辺を取り戻しましょう。
- たくさんの生きものたちが生息する場を取り戻しましょう。
- ゴミを見つけたら勇気を出して拾いましょう。
- ゴミを捨てない大人と子どもをはぐくみましょう。
- ゴミが生まれない社会を創りましょう。
- 山、川、里、海それぞれで活動する人どうしの繋がりをつくりましょう。
- 流域全体で人と自然が共生する環境を創りましょう。

(「第1回～第5回のごみミと水を考える集い」で採択しました。)



↑ 来年6月24日に「藤前干潟エクスカーション」をします。



↑ 2016年10月30日 6回目の奈佐の浜大清掃活動参加者集合写真

子どもたちが安心して遊べる岸辺めざして！！

- ※ 本取り組みは、16後期なごや環境大学共育講座として開催します。
- ※ 本取り組みは、公益法人河川財団(河川基金)の助成を受けて開催します。
- ※ 本取り組みは、一般社団法人セブンイレブン記念財団の助成を受けて開催します。

会場案内図

市バス利用 ↓ 下図 野跡小学校前下車 5分、野跡駅下車 7分
あおなみ線利用 ↓ 下図 野跡駅下車 徒歩10分



- 市バス／ 幹築地 1 名古屋港←→フェリーふ頭「野跡小学校」下車、徒歩5分
港区役所←→野跡駅「野跡小学校」下車、徒歩5分
名古屋港←→フェリーふ頭「稲永スポーツセンター(北)」(ただし平日のみ)下車すぐ
名古屋港←→野跡駅「野跡駅」下車、徒歩7分
- 金山25 金山←→野跡駅「野跡小学校」下車、徒歩5分
- 幹名駅 2 名古屋駅←→野跡駅「野跡小学校」下車、徒歩5分
- 高畑13 八田駅←→野跡駅「野跡小学校」下車、徒歩5分
- あおなみ線／ 名古屋←→金城ふ頭「野跡」下車、徒歩10分(名古屋から野跡まで21分)

